レタン中塗E

RETAN UNDERCOAT E

一般名称	ポリウレタン樹脂塗料用中塗
適用規格	JIS K 5659:2018 鋼構造物用耐候性塗料 A種中塗り塗料
系統	ポリアミド硬化エポキシ樹脂中塗塗料（2液形）
主な用途	【電力・プラント用】 【鉄塔・鉄骨用】 など

適用素材

鉄	亜鉛めっき	アルミ	ステンレス	コンクリート
—	—	—	—	—

特長

1）エポキシ系下塗塗料・ポリウレタン系上塗塗料との付着性が優れている。
2）耐海水性・耐薬品性に優れ、大気汚染の激しい雰囲気における高度な抵抗性がある。
3）強じんで、耐摩耗性が優れている。

塗料性状		
塗料密度（比重）	1．27（白）	
溶剤密度（比重）	0．85	
加熱残分	64％（白）	

法令など	ベース	硬化剤
劇物表示（品名・含有率）	—	—
労安法上の表示有害物	キシレン、トルエン 1-ブタノール メチルイソブチルケトン エチルベンゼン	キシレン 1-ブタノール エチルベンゼン
使用有機溶剤種別	第2種有機溶剤等	第2種有機溶剤等
消防法による危険物区分	第1石油類（非水溶性）	第2石油類（非水溶性）
硬化剤の成分による区分	ポリアミドアミン	
ホルムアルデヒド放散等級	—	

製品情報

		ベース	硬化剤
荷姿	18kgセット	15kg	3kg
	4kgセット	3．3kg	0．7kg
混合比（重量比）	ベース：硬化剤＝5：1		
主な色（色相）	各色		

素地調整

〇被塗面は十分乾燥させ、汚れ等の不純物の付着がなく、清浄であること。
〇水洗により塩分、水溶性汚染物質を除去する。適切な洗浄剤や溶剤で、油やグリースを除去する。
〇詳細は塗装仕様書を参照ください。

使用方法		
	調合方法	ベースに対して硬化剤を所定の割合になるまで少しずつかき混ぜながら加えたのち 下記のシンナーを規定内で混入し、十分攪拌したのち使用する。
	熟成時間	不要 ※規格に規定があるものは、それに準拠してください。
	使用シンナー	テクト中塗シンナー
	希釈率（重量比）	エアレス： 0～10wt％ ハケ・ローラー： 0～10wt％
	エアレススプレー	2次圧 ： 10MPa（ 100kg／cm²）以上
	塗装条件	チップNo. ： 163－513～619 （日本グレイ社製）

レタン中塗E

RETAN UNDERCOAT E

使用量と膜厚

塗装方法	標準膜厚		標準使用量 注)
	Dry(μm)	Wet(μm)	g/㎡/回
エアレススプレー塗り	30	75	170
ハケ・ローラー塗り	30	75	140

注)標準使用量は、個々の条件によって異なります。

乾燥時間 塗装間隔 可使時間

項目		5℃	10℃	20℃	30℃	40℃	
乾燥時間	指触	3時間	3時間	2時間	2時間	1時間	
	半硬化	16時間	16時間	8時間	6時間	6時間	
標準塗装間隔 注)	最短	48時間	24時間	16時間	10時間	8時間	
	最長	10日	10日	10日	7日	7日	
可使時間		12時間	8時間	5時間	3時間	1時間	

注) 上記数値は施工管理上の参考データです。規格に規定がある場合はそれを優先してください。
実施工においては塗膜異常がないことを確認したのちに、次工程塗装してください。下記の主な適用上塗塗料を塗り重ねる場合です。

作業禁止条件　気温 5℃以下、湿度(RH%)85以上

主な適用下塗塗料
強溶剤: エポマリンプライマー、レタンGPプライマー、エスコ、アルテクト、フェロドールEPXなど
弱溶剤: —
ﾊｲｿﾘｯﾄﾞ: —
水性: —

主な適用上塗塗料
強溶剤: レタン6000など
弱溶剤: —
ﾊｲｿﾘｯﾄﾞ: —
水性: —

耐熱温度(大気バクロ環境)　短時間 200℃耐用 、 長時間 100℃耐用
(短時間とは、概ね1時間以内を目安としてください。)

施工管理用特数値

希釈率(wt%)	SVR(%)	WET/DRY係数
0	46.2	2.2
5	43.0	2.3
10	40.2	2.5

【理論WET膜厚】=【目標膜厚】÷【SVR】 式または
【理論WET膜厚】=【目標膜厚】×【WET/DRY係数】式で
希釈率毎の管理WET膜厚が算出できます。
※SVR(Solid Volume Ratio)体積固形分であります。

安全情報
○安全情報に関する詳細な内容は製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。
○容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご確認の上、ご使用ください。
○塗料が皮膚につくと人によってはカブレを起こすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いください。

貯蔵条件
本製品は特に水分の影響を受けないように保管してください。
高温多湿環境・直射日光を避け、密閉した状態で冷暗所で保管ください。

使用上の注意事項
1)塗装前に被塗面の異物(研削材、ダスト、油脂汚れ、水分、粉化物)は除去ください。
2)塗料が皮膚につくと人によってはカブレをおこすことがあるので、皮膚につかないように取り扱ってください。
本品の安全衛生上の取り扱いについては技術資料031「エポキシ樹脂塗料の使用上の注意」を参照してください。
3)塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は、MSDS(製品安全データーシート)を参照してください。
4)塗膜の乾燥過程で水(降雨)の作用を受けると白化することがあります。この場合はサンドペーパーなどで表面を研磨して除去してください。
5)常時没水される箇所には使用できません。